

コーポレートガバナンス

業務執行の迅速化と適正性の確保へ ガバナンスを強化



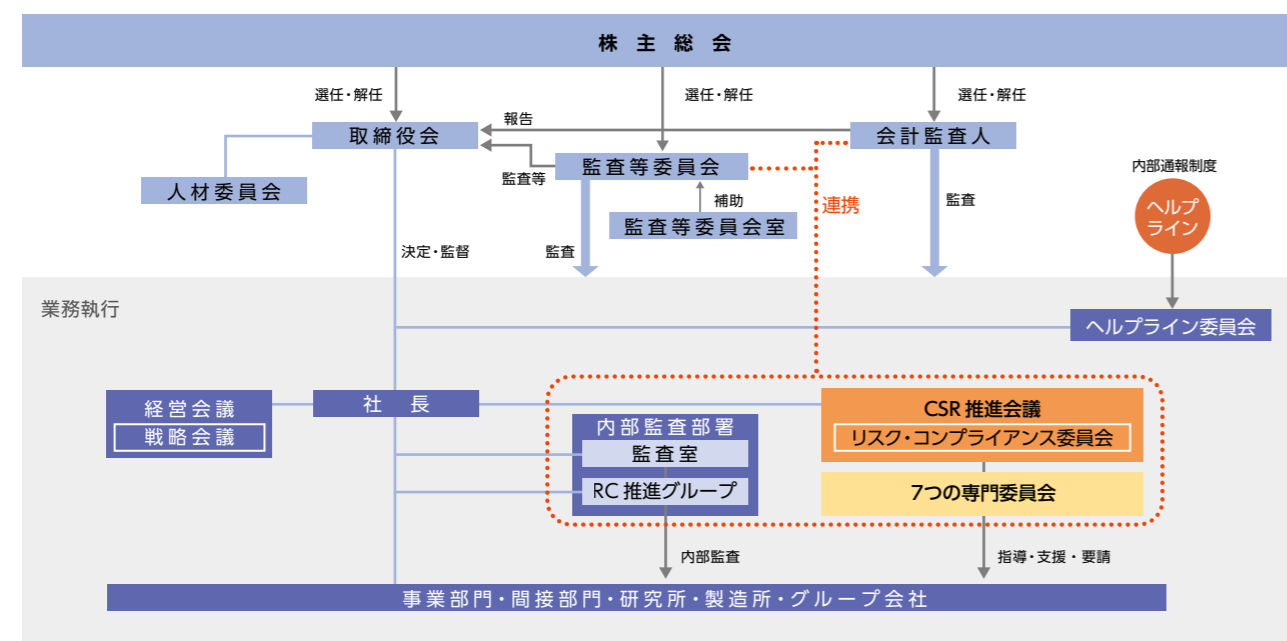
トクヤマは、ステークホルダーの方々との信頼関係を構築し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、コーポレートガバナンスを経営の重要課題と認識し、コーポレートガバナンスの強化・充実に取り組んでいます。

トクヤマのコーポレートガバナンス

当社は、コーポレートガバナンス・コードを踏まえ、株主の皆さまの権利・平等性の確保、取締役会の監督機能の強化と独立性の確保、意思決定の迅速化と業務執行の責任の明確化、および適切な情報開示と透明性の確保、株主の皆さまとの建設的な対話などに努めています。

2017年は経営における執行と監督の機能をより明確にし、ガバナンスの質を高めるため、監査等委員会設置会社へと移行しました。これにより、業務執行の迅速化を進めると同時に、取締役会では事業方針などについての議論を深め、業務執行の適正性確保へ向け監視機能を強化しました。

コーポレートガバナンス体制図



コーポレートガバナンス体制

取締役会

取締役会は、業務執行に関する重要事項の審議、決議を行うとともに、業務執行を監督しています。取締役会の監督機能を強化するため社外取締役を3名選任しています。

監査等委員会

監査等委員会は、社外監査等委員3名を含む5名の監査等委員である取締役により構成され、取締役会その他の社内の重要な会議に出席し、業務執行取締役の執行状況を監査しています。

人材委員会

人材委員会は、代表取締役および社外取締役により構成され、取締役会に先立ち、取締役および執行役員の報酬や候補者選定などを協議しています。

経営会議

経営会議は、執行役員の中から代表取締役社長執行役員（以下、「社長」という）が指名した者によって構成される業務執行に関する決議機関で、原則として毎月2回開催されます。取締役会が決定した決裁規則に基づき、重要な戦略等について協議し、意思決定を行います。

戦略会議

戦略会議は、執行役員の中から社長が指名した者によって構成される社長の諮問機関で、事業執行の方向性について協議しています。

CSR 推進会議

CSRの方針と目標を決定し、その目標を達成する活動を円滑に進めるために、社長を議長とし、全執行役員を委員とするCSR推進会議を設置しています。適切なコーポレートガバナンスと内部統制をCSRの基盤と位置づけ、内部統制の重要事項についても本会議で議論しています。

リスク・コンプライアンス委員会

CSR推進会議の中にCSR推進室担当取締役を委員長とするリスク・コンプライアンス委員会を設置し、内部統制の中核かつ両輪と位置づけているリスクマネジメントとコンプライアンスの推進を図っています。

7つの専門委員会

リスクマネジメントとコンプライアンスの観点で特に専門性および重要性の高い分野について、リスク・コンプライアンス委員会から分離させた専門委員会（決算委員会、独占禁止法・競争法遵守委員会、貿易管理委員会、情報セキュリティ委員会、環境対策委員会、保安対策委員会、製品安全・品質委員会）をCSR推進会議のもとに設置し、活動を展開しています。

ヘルプライン委員会

ヘルプライン委員会は、当社グループにおける法令遵守上疑義のある行為などについての内部通報制度として設置しているヘルプラインに関する役割を担っています。

内部監査部署

当社は、内部監査部署として監査室およびRC推進グループを設置し、当社の各部署とグループ会社に対して内部監査を実施しています。